

講師

金谷 めぐみ

■ 学歴

1. 日本大学大学院芸術学研究科博士後期課程

■ 学位

1. 修士（芸術学）

■ 研究分野

1. 声楽発声研究
2. 子どもの音楽
3. 教会音楽

■ 研究キーワード

1. 歌唱技術
2. 子どもの歌
3. 讃美歌

■ 研究課題

1. 歌唱における発声および技術の習得について W.A.モーツァルトの声楽作品から検討する。
2. 子どもの音楽表現活動の指導法について検討する。
3. キリスト教音楽の歴史と讃美歌について文献的考察を行う。

■ 担当授業科目

1. キリスト教と西南女学院のあゆみ（前期1回）（保健福祉学部,人文学部）必修
2. キリスト教と文化（後期2回）（保健福祉学部,人文学部）選択
3. 初年次セミナーⅠ（前期）（福祉学科）必修
4. 初年次セミナーⅡ（後期）（福祉学科）必修
5. 保育実習指導Ⅰ（通年）（福祉学科）選択必修
6. 保育実習指導Ⅱ（通年）（福祉学科）選択必修
7. 保育実習Ⅰ（通年）（福祉学科）選択必修
8. 保育実習Ⅱ（通年）（福祉学科）選択必修
9. 保育内容・表現（前期）（福祉学科）選択必修
10. 保育内容の理解と方法Ⅰ（前期）選択必修
11. 保育内容の理解と方法Ⅱ（後期）（福祉学科）選択必修
12. 保育実践演習（通年）（福祉学科）選択必修
13. 専門研究Ⅰ（通年）（福祉学科）必修
14. 専門研究Ⅱ（通年）（福祉学科）必修

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【キリスト教と西南女学院のあゆみ】 キリスト教音楽の歴史を概観し、日本における讃美歌集の編纂過程について解説した。キリスト教教育を柱とする本学において讃美歌を歌う意義について解説し、西南女学院ゆかりの讃美歌を紹介した。
2.	授業科目名【キリスト教と文化】 教会音楽の成り立ちについて解説した。教会暦について解説し、1回目は待降節および降誕節に関連する音楽について、2回目は復活祭について解説を行った。クリスマスおよびイースターの音楽を紹介し、受講者と一緒に歌いキリスト教音楽に親しむ機会を設けた。
3.	授業科目名【初年次セミナーⅠ】 初年次セミナーⅠでは、大学と高校の学びの違いについて説明し、学生自らが積極的に課題を探究していくために、スタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図った。具体的には、講義の聴き方、ノートの取り方、本の読み方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索の演習を行うことで、大学で主体的に学ぶ技法の習得を目指した。
4.	授業科目名【初年次セミナーⅡ】 基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力を獲得するために自らが積極的に課題を探究していく課題を設定し、学びの質を高めた。初年次セミナーⅠのスタディ・スキルズを強化および発展させ、物事を多面的・多角的に捉えて思考し、それらの考えを伝える力を身につけるための演習を行った。
5.	授業科目名【保育実習指導Ⅰ】 保育実習指導Ⅰでは、保育実習の事前から事後において必要とされる知識、技能の内容について取り扱う。実習生としての姿勢・心構え、実習先施設の機能・役割、子どもを理解する視点等、各自の実習課題を明確にすることで事前学習を深める。また、実習に必要な書類作成において個別指導を行うことで、日誌および計画書等の書き方を学べるよう工夫を行った。実習後は個別面談により実習の振り返りを行い、実習での学びを整理し、実習報告会にて発表することで、実習における各自の自己課題を明確化させた。
6.	授業科目名【保育実習指導Ⅱ】 保育所の機能・役割、子どもを理解する視点、保育士に求められる知識と技術について実習Ⅰを振り返り、自己の課題を確認し、事前学習を深め、新たに各自の実習課題を明確化した。実習に必要な書類の作成においては、個別指導を取り入れることで、理解を深める工夫を行った。実習後は個別面接により実習の振り返りを行い、報告会で発表することで実習での学びを整理する機会を設けた。
7.	授業科目名【保育実習Ⅰ】 保育実習指導Ⅰと一体的に構成される実習について指導・教授を行った。実習期間中の巡回指導では個別面談を行うと共に、実習先の指導者との連携・強化を図った。また、設定保育を行う学生には指導案作成について適宜指導を行った。さらに実習後は実践現場での体験を通して理解した内容を自分の言葉で説明できるよう、報告会の資料作成について指導を行った。

8.	授業科目名【保育実習Ⅱ】 保育士として必要な資質・能力・技術を習得し、保育実践を円滑に行うことができるよう、実習オリエンテーション、実習関連書類の作成について個別指導を行った。実習では、学生が実習生として家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を身につけるとともに、子育てを支援するために必要とされる能力について、自身の言葉で説明できるよう、ディスカッションを行った。また、他科目の教員との連携を図るよう心掛けた。
9.	授業科目名【保育内容 表現】 乳幼児の「表現」について他の領域と関連付けながら解説することで、特定の表現活動だけでなく、日常の総合的な子どもの表現について考察する視点を持てるよう工夫を行った。また、保育者自身の「表現」に係わる知識・技能習得のための演習を段階的に行い、自分自身を解放して表現する楽しさを共有することで、保育における指導のありかたを模索する機会を設けた。乳幼児の「表現」を導くための指導案を作成し発表を行うことで、子どもの表現への理解を深めた。
10.	授業科目名【保育内容の理解と方法Ⅰ】 保育内容の理解と方法Ⅰでは、保育士として求められる基礎技能において、声の使い方について解説し、身近なテーマで歌や言葉遊びを創作することができるよう、演習内容の工夫を行った。また、ピアノ演奏の基礎に関する実技指導ピアノ実技指導に関しては、学生のピアノの演奏技能の程度によってグループ別および個別に授業を行うことで、丁寧な指導を心掛けた。
11.	授業科目名【保育内容の理解と方法Ⅱ】 保育士の現場で活用できる音楽の基礎技能について解説し、ピアノの演奏技術を高め、弾き歌いや伴奏法について指導した。前期の「保育内容の理解と方法Ⅰ」を引き継ぎ、グループ別および個別に授業を行い、一人ひとりに適した指導を行った。また、歌唱においてはわらべ歌など子どもの遊び歌に即興的な身体表現を取り入れた発声を行い、自然な発声ができるよう指導した。また合唱を通して声を合わせる楽しさを感じることができるよう、音楽を用いた幅広い演習を行った。
12.	授業科目名【保育実践演習】 子どもの身体的表現、音楽的表現、身体的表現を十分に引き出すための技術について解説し、子どもの様々な動きや表現力を引き出す具体的な方法について検討させた。表現活動を実施するため技能における自己の課題を設定し、授業期間全体を通して各自課題に取り組み、発表することで個人の音楽の能力を向上させることができた。また、様々な演習に表現活動を組み入れることで、様々な場面における表現活動の計画・立案・実践などの総合的な力を養うよう心掛けた。
14.	授業科目名【専門研究Ⅱ】 学生が設定したテーマに沿って、レポート作成の指導を行った。また、充実した学びの確保のため、学生生活全般にわたってサポートを行った。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2009 年 12 月～現在に至る	日本演奏連盟	
2.	2012 年 10 月～現在に至る	日本保育学会	
3.	2013 年～現在に至る	日本声楽発声学会	
4.	2018 年 3 月～現在に至る	日本音楽療法学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

（1） 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外 者	交付決定額 （単位：円）
1.				
2.				
3.				

（2） 個人研究

	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2006 年～現在に至る	荏田キリスト教会	役員・奏楽者
2.	2011 年 4 月～現在に至る	国立音楽大学同調会北九州支部	副支部長
3.	2018 年 6 月～現在に至る	ふたば保育園	リトミック講師

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	懇親会委員会	
2.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	宗教委員会	
3.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	キリスト教センター運営委員会	運営委員
4.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	キリスト教センター	音楽主事
5.	2019 年 4 月～現在に至る	クールベルフィーユ	顧問
6.	2019 年 4 月～現在に至る	ハンドベル部	顧問
7.	2024 年 4 月 25 日 2025 年 2 月 20 日	聖書学課 奏楽	
8.	2024 年 9 月 19 日	西南女学院中学高等学校 讃美歌コンクール	審査員
9.	2024 年 4 月, 2025 年 3 月	入学式・卒業式 特別賛美	